取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和２年度

前期（中間見直し）

実施内容
・８月から１２月までで１クール１０回実施し、参加者は４人だった。 ・初回と最終回に認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）を実施した結果、改善した人はいなかった。 ・実施場所に市指定文化財である施設を活用した。
自己評価結果
・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が４人のみであった。 ・認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）の結果、改善した人はいなかった。参加者が毎回同じようなメンバーになることも原因の一つと考えられる。
課題と対応策
・新型コロナウイルス感染症の心配があり、利用者が参加しづらい状況になっている。感染防対策を十分に行う必要がある。 ・参加者を増やすため、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、認知機能の低下があると思われる人に事業の PR をしていく必要がある。

後期（実績評価）

実施内容
・８回１クールとして、年間２クールを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、１クール１０回として、１回のみ実施した。 ・初回と最終回に認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）を実施した結果、改善した人はいなかった。 ・利用者の出席率は９５％で、アンケートの結果満足度も高かった。
自己評価結果
・２クールで１６人の参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり１クール１０回となり、参加者も４人であった。 ・認知症のスクリーニング検査（Me－ＣＤＴ）の結果、改善した人はいなかった。参加者が毎回同じようなメンバーになることも原因の一つと考えられる。 ・実施場所について、加者の記憶を想起させるものが多くある、市指定文化財である施設で実施したが、効果はあまり見られなかった。
課題と対応策

・新型コロナウイルス感染症の心配があり、利用者が参加しづらい状況になっている。感染防対策を十分に行う必要がある。
・効果があまりみられないので、認知症の専門職等の資格を有している人を講師として招くことを検討する。